

## 令和3年度教育研究活動報告書

|      |                |    |              |
|------|----------------|----|--------------|
| 氏名   | 佐藤沙織           | 所属 | 経済情報学部経済情報学科 |
| 学位   | 博士（社会学）        | 職位 | 准教授          |
| 専門分野 | 社会保障・社会政策・社会福祉 |    |              |

|   |   |
|---|---|
| I 教育活動  |   |
| 本年度担当科目   |   |
|   | 授業科目                                      |
| 学部  | 社会政策、社会保障入門、社会保障、基礎演習、専門演習Ⅰa/Ⅰb、専門演習Ⅱa/Ⅱb |
| 大学院   | 社会保障特論                                    |
| II 研究活動   |   |
| 現在の研究テーマ（3つまで）  |   |
| （1）戦後日本における医療供給と福祉供給の関係性に関する歴史社会学的研究  |   |
| （2）医療による救貧・防貧政策の起源に関する歴史社会学的研究  |   |
| 本年度を含む過去3年間の研究業績 R3・R2・R1   |   |
| R3 <論文> 佐藤沙織（2022）「生活困窮者処遇における医療の福祉的機能の歴史的展開」『経済情報論集』Vol.22掲載頁未定<br><学会発表> 佐藤沙織（2022）「戦後日本における医療の福祉的機能」同時代史学会2021年度大会、オンライン開催、招待講演<br><学会発表> 佐藤沙織（2021）「戦後日本における民間病院の福祉的機能」日本保健医療社会学会 第47回大会、オンライン開催、査読有り<br><論文> 佐藤沙織（2021）「戦後日本における病院の福祉的課題」『経済情報論集』Vol.21(1)、pp.53-67  |   |
| R2 <調査研究事業報告書> 高間沙織（2020）「第4章 一時生活支援事業の内容」特定非営利活動法人抱樸編『居住支援の在り方に関する調査研究事業 報告書』pp.55-58  |   |
| R1 <書評> 高間沙織（2020）「書評 住民とともに歩んだ医療—京都・堀川病院の実践から」『保健医療社会学論集』第30巻第2号、pp.101-102<br><学会発表> Saori Takama, “The Importance of History in Understanding Local Conditions for the Implementation of Community-based Integrated Care”, 2nd Asia Pacific Conference on Integrated Care, Melbourne Convention and Exhibition Centre, November 2019、査読あり<br><論文> 高間沙織（2019）「地域医師会事業の発展条件に関する一考察 尾道市医師会方式を事例として」『地域ケアリング』第21巻第6号、pp.40-48<br><学会発表> 猪飼周平、後藤基行、高間沙織、赤木佳寿子、原田玄機（2019）「ヘルスケア政策・社会福祉政策における政策史研究の射程」日本保健医療社会学会 第45回大会ラウンドテーブルディスカッション、東京、査読あり |   |
| H30以前の主な研究業績  |   |
| （1）<編著> 高間沙織（2019）「戦後日本における病院の福祉施設の利用」猪飼周平編『羅針盤としての政策史』勁草書房、pp.73-132   |   |
| （2）<学会発表> Saori Takama, “The Role of Local Medical Associations in Community-based Care”, The 15th East Asian Social Policy Network Annual Conference on Social Policy in Post-Growth East Asia, University of Bristol, UK, July 2018、査読あり  |   |
| （3）<論文> 高間沙織（2018）「地域連携における医師会自治の機能 尾道市医師会方式を事例として」『地域ケアリング』第20巻第3号、pp.98-102   |   |
| （4）<書評> 高間沙織（2018）「書評 しかし、誰が、どのように分配してきたのか 同和政策・地域有力者・都市大阪」『保健医療社会学論集』第28巻、pp.89-90   |   |
| （5）<編著> 高間沙織（2017）「戦後日本における病床供給の構造」公益信託松尾金蔵記念奨学基金編『明日へ翔ぶ—人文社会学の新視点—4』風間書房、pp.241-264  |   |
| 学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R1・R2・R3  |   |
| 所属学会・所属団体 役職等と任期  |   |
| 社会政策学会・日本保健医療社会学会・関東社会学会・社会福祉学会<br>社会政策学会若手研究者育成フォーラム世話人（2020年4月～現在）  |   |

|   |
|---|
| IV 社会活動   |
| 1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）  |
| （1）上野公園でホームレス状態にある人に対して夜回りをし、薬や食料を配布した。   |
| （2）医療保険に加入していない外国人向けに開催された医療相談会にボランティアとして参加した。  |
| （3）ホームレス状態にある人に対する無料医療相談会にボランティアとして参加した。  |
| （4）社会福祉士国家資格を取得し、社会福祉領域の実務知識を向上させた。   |
| （NGO・NPO活動、国際交流・協力活動、ボランティア活動等その他特記事項があれば記入）<br>ホームレス状態にある人に対して夜回りをし、薬や食料を配布した。<br>ホームレス状態にある人に対して開催されている医療相談会の運営を手伝った。<br>医療保険に加入していない外国人向けの医療相談会の運営を手伝った。 |